

会 議 要 録

会 議 名	第32回 八王子市生活安全対策協議会		
日 時	令和5年(2023年)2月20日(月) 午前10時～11時30分		
場 所	八王子市役所本庁舎議会棟4階 第6委員会室		
出席者 (敬称略)	委 員	西原 延枝、尾寄 敏夫、大橋 舞菜、加藤 一詞、猪野 寛次、 久保 潤二、鈴木 麗加、右田 敦之、平湯 達也、田村 正志、 松原 清十郎、齋藤 辰男、野田 明美、富山 佳子 計14名	
	説 明 者	東日本旅客鉄道株式会社八王子駅 小林智子副長	
	事 務 局 等	長谷川生活安全部長、昆防犯課長、星主査、西川主任、大竹主事 計5名	
		計25名	
欠席者(敬称略)	綾塚 匡尚、粕谷 良、西室 正士、堀上 則夫、高橋 文夫、計5名		
議 題	(1)市内の犯罪発生状況と対策について (2)八王子駅周辺の客引き行為等の状況について (3)警察署管内の犯罪発生の傾向と対策等について (4)その他(事務連絡等)		
公開・非公開の別	公開		
非 公 開 理 由			
傍 聴 人 の 数	なし		
配 布 資 料 名	<ul style="list-style-type: none"> ● 次第 ● 資料1「令和4年(2022年)犯罪発生状況対比表」 ● 資料2「令和4年(2022年)八王子市内特殊詐欺被害発生状況」 ● 資料3「ユーロード方面 客引き・スカウト等調査」 		
会 議 の 内 容	(次のとおり)		
会 議 録 署 名 人	令和5年4月10日	署名人	久保 潤二

会議の内容 【 】: 発言者

開会【防犯課長】

開会挨拶【生活安全部長】

資料確認【防犯課長】

挨拶【議長】

事務連絡【防犯課長】

- ・ 本日の会議出席者は規定数である過半数が出席。
- ・ 本日は傍聴人なし。
- ・ 会議録の扱いについては、内容の正確さを期すため、議長に確認・署名をお願いする。

議題（１） 市内の犯罪発生状況と対策について

【星主査】

- 1, 市内の犯罪発生状況について 資料 1・2 に沿って説明。
- 2, 特殊詐欺対策について
 - ・ 1月27日、市役所に職場体験に来た中学生と一緒に、JR 西八王子駅にて啓発活動としてティッシュ配りを実施。
 - ・ 2月4日、消費生活フェスティバルに参加して啓発活動を実施。
 - ・ 2月1日から3月31日までの期間、はちバス二台に特殊詐欺被害防止ポスターの掲示を実施。八王子・高尾・南大沢三警察署と連名。
 - ・ 2月14日、生活安全パトロールにおいて、JR 八王子駅及び京王八王子駅にて啓発活動としてティッシュ配りを実施。
 - ・ 今後もイベントやキャンペーンなどあらゆる啓発活動を通じて被害防止の注意喚起をおこなっていく。
 - ・ 昨年に八王子・高尾・南大沢三警察署及び防犯協会の要請を受け、視察と検討を重ねた結果、本年の4月から、偶数月の年金支給日の午後に、防災行政無線を活用して特殊詐欺被害防止の注意喚起放送をおこなうことを決定した。

○質疑応答

【尾寄委員】

皆さん承知のとおりフィリピンを根拠としたような犯罪が発生しており、八王子市内でも侵入窃盗被害が増加していることを心配している。何か対策を打てればいいと思っている。

【議長】

アポ電も増加しており心配。警察で対策はしているのか。

【松原委員】

後ほど対策については説明する。

【平湯委員】

防災無線による特殊詐欺の啓発について、以前から依頼をしており、三警察署としても対応を感謝している。効果が出ている自治体もあると聞いており、期待している。

【鈴木委員】

特殊詐欺の被害金額が増加している。令和4年の被害が増えた理由や特徴について聞きたい。

【松原委員】

後ほど説明する。

【加藤委員】

侵入窃盗について、どの地域が被害多いのか。例えば、地域ごとに高齢者が多い等のデータはあるか。

【星主査】

町名と件数を示すことは可能である。

【右田委員】

侵入窃盗について、近年近所付き合いが希薄になっていることもあるが、八王子市ではその反面、町会の活動が活発になっている。それにも関わらず件数は増加している。侵入窃盗がなぜ発生するのか。警察署の見解を後ほど聞きたい。

【西原委員】

自転車盗について、路上であれば警察に通報すれば撤去してもらえるが、個人の敷地内は対応してもらえない。放置されている物も多い。マンションのセットバックしている箇所に自転車を置かれると、敷地内のため警察でも対応できないと聞いた。無くした持ち主が探しているケースもあると思う。放置自転車が溜まっている箇所もあり、置き場所と認識されてしまうのではと懸念している。

【議長】

コンビニ等でも多い印象。個人宅に置いてある場合は拾得物として届出できると思うが、どのような対応となるか。

【松原委員】

盗品の被害届が出ていれば警察で持ち主を探す等対応も可能だが、出ていなければ張り紙等をして、最終的には管理者の処分権限で対応するしかない。

【西原委員】

駐車場の敷地内でも個人の敷地内となり、同様の対応となるか。

【松原委員】

管理者がいるので、盗品でなければ管理者の権限に基づき処分となる。

【西原委員】

よく、放置自転車の警戒している者がいるか、市の人間か。

【防犯課長】

放置自転車対策業務指導員といい、市の会計年度任用職員である。市の放置自転車の対策している所管は交通事業課となる。詳細な対策については、確認して回答する。

【尾寄委員】

盗品か確認できない場合はどうすればよいか。

【松原委員】

通報してもらえれば、警察で盗品の届出あるか確認できる。

【尾寄委員】

私の住んでいる地域は河川敷が近いが、よく放置されている自転車を見かける。被害を受けた時の対応について、市がPR や対策をよく周知する必要があると思う。

【議長】

注意喚起が必要。拾得物として持ってきたときはどうするか。

【松原委員】

基本的に拾得物にはなじまない。乗り捨て等の不法投棄として扱うことはある。

【議長】

環境保護の観点から行政にも関連する可能性がある。調べて市で回答をお願いする。

【富山委員】

高齢者あんしん相談センターは日常生活圏域ごとに21か所設置されている。特殊詐欺等の情報については警察署と情報を共有し、高齢者に発信している。地域のイベントを実施した際には、警察署の方にも来てもらっている。高齢者が認知症などの症状により万引きをしてしまうことがある。そのような場合の対応をどのようにされているのか気になっている。

【猪野委員】

駅構内にもATMがあるので、見える範囲で警戒はしているが、駅構内に多くの物があるので全てを見るのは難しい。駅構内・駅関係で被害の未然防止があった事例はあるか。

【松原委員】

南大沢警察署管内では把握がない。

【猪野委員】

もし多く発生があるのなら、構内の巡回を強化できる。

【松原委員】

発生自体はATMに誘導されてくるケースは多くある。

【田村委員】

人がいるところでは、携帯を操作しているのを見て声をかけてくれる人もいるが、無人のところは危険。高尾警察署管内でも無人のため警戒している箇所はあり、その中には駅のATMもある。

【猪野委員】

危険な時間帯が分かれば、駅構内も巡回強化できるので、教えてほしい。

【議長】

是非、巡回強化のためにデータを示してほしい。

【大橋委員】

ショートメールや架空請求が増えていると、大学やバイト先で話が挙がる。前にもショートメールで税務署の名をかたって税金の架空請求がきた。ネットで調べれば詐欺とわかるが、高齢者や一人暮らしなどネットを使えない人は信じてしまうと思う。オレオレ詐欺のチラシはよく見るが、架空請求のチラシなど、流行りの詐欺のチラシはあまり見ないので、周知する必要があると思う。

【議長】

市で是非検討をお願いします。

【小林副長】

駅利用者も増えてきて、利用者同士のトラブルが増えている。また、京王電鉄と同様、時間帯が分かればATMを巡回する。巡回で気を付ける点も、例えばATM前で電話している高齢者に声をかけるなど、具体的に言ってもらえれば対応できる。犯罪の未然防止に協力できるのであれば是非協力したい。

【鈴木委員】

八王子でリースバック契約による被害が増えている。消費生活センターでも同じ話題があがった。最近あった事例としては、子どもも配偶者もないマンション住まいの高齢者が、マンションを売られてしまう事例。リースバック契約自体が違法ではないが、悪用されている。契約内容に合理性が無いが、不安を煽りだまされてしまう。最終的に住んでいるところを追われてしまう危険性もある。八王子市内の方の被害も出ている。啓発しようとしても高齢者では内容がよく伝わらない。親族や地域の人に訴えていく必要がある。

【斎藤委員】

一人暮らしで誰にも発見されず、時間が経過して亡くなるケースが増えている。侵入窃盗や強盗等があると同時に発見が遅れる可能性がある。新聞が溜まっていておかしいと気づかれるケースもある。一人暮らしの人を減らすことは難しい。近所付き合いの重要性などを訴えていく必要があると感じる。

【野田委員】

地域づくりの中で、町会に加入している人は勿論のこと、町会に入っていない方や子どものいる家庭等、様々な人に対し必要とされている多様な情報を的確に伝えていく必要があると感じている。前回の協議会で紹介いただいた、警視庁のアプリ「デジポリス」に入る等を紹介していくのも有効と感じた。

【議長】

斎藤委員の話と併せて、市は単身者の高齢者に対して何か対策はあるだろうか。

【防犯課長】

今まで高齢者に対しては周知をしてきたが、その家族等の子や孫に向けて広く関心を持ってもらうことが大切と感じている。闇バイトに関わらないことなど、若い人へ周知をする必要がある。幅広い世代に啓発していくように取り組んでいきたい。

【右田委員】

特殊詐欺被害の82%が女性ということだが、独居の女性が多いのか。

【松原委員】

明確には出ていないが、女性の単身世代が体感としては多い。親心を利用していると思われる。また、女性のほうが在宅している人が多いのではないかと考えている。

【鈴木委員】

男性は被害届を出さない人が多いのではないか。女性のほうが出すことにためらいがないと思われる。

【右田委員】

男性の被害者は潜在的にはもっといると思われる。

【議長】

もし、理由について分析されているものがあれば提出をしてほしい。

議題（２） 八王子駅周辺の客引き行為等の状況について

【星主査】

- ・資料３に沿って説明
- ・今後は、条例に従い、指導・警告・勧告・公表による効果的な運用をおこない、更に、警察署と連携して、客引き行為等の撲滅を目指していこうと考えている。

○質疑応答

【尾寄委員】

市では月に１回、管理職を中心に生活安全パトロールを実施している。地域の町会や自治会の皆様とも協力しながらパトロールしている。私も何度か参加している。実際にパトロールをしているときは黒服の人の数が少なくなる。遅くなる時間帯になると様々な人が八王子駅周辺に多く出ている印象を受ける。ただ、現在は条例などの効果が効いているのか、無理な客引きが減少していると感じている。是非、委員の皆様にも生活安全パトロールへの参加をして、直接町の様子を見てほしい。

【議長】

客引きで怖いところは、ぼったくりの被害につながる可能性があるところ。市内でぼったくりは発生しているか。

【星主査】

市内のぼったくりについてはほぼ把握がない。

議題（３） 各警察署管内の犯罪発生傾向と対策等について

【南大沢警察署 松原委員】

- ・八王子・高尾・南大沢三警察署を代表して説明する。

- ・令和4年の刑法犯認知件数は前年度比でやや増加。令和元年から三年間平均と比べるとやや減少している。感覚ではあるが、新型コロナウイルスの影響で行動自粛があったからか減少率が落ちている。
- ・増えている犯罪は侵入窃盗や自転車盗。侵入窃盗は特に空き巣が多い。自粛で家にいたのが、行動自粛の解除を受け自宅を留守にするため空き巣増加に繋がっているのではないか。
- ・自転車盗の件数が増えている。活発に外に出る動きが出てきて自転車の利用が増えたのが影響していると思われる。大学生などは通学が再開し自転車も利用している。
- ・特殊詐欺は増加。特殊詐欺がなぜ増えているのか、具体的な理由は不明。令和4年中、市内で89件発生している。多いのはオレオレ詐欺・キャッシュカード詐欺盗・還付金詐欺。今年入ってから詐欺の電話が多く入電ある。警察に通報があった件数は今年の1月だけで327件。大半はオレオレ詐欺。電車の中に鞆を置いてきた、書類が入ってきた、お金が必要といい、その後上司やJRの職員が登場する。
- ・これらの情報は三警察署からメールけいしちょうで情報を発信している。デジポリスでも同様に確認できるので、是非登録して、防犯活動に活かしてほしい。
- ・特に増加しているのが還付金詐欺。手口としては、八王子市役所をかたって電話がくる。医療費の還付金があるといい、封筒が届いていないかと言われ、今なら手続きがATMできると誘導されるもの。ATMで言われたことを操作するだけなので、本人は振込をした感覚がない。そのため、本人に理解してもらうことは難しいと思う。手口を周知して、周囲の人が止めていく必要がある。
- ・去年12月から1月にかけて、南大沢警察署で主要な無人ATM6～7箇所に警察官を配備し警戒にあたったところ、6名の人のだまされてATMに来てしまった。市役所の名前を使われると疑うのは難しい。
- ・被害防止のためATMで操作している高齢者を見かけたら、声掛けをしてほしい。助け合っでの対策が大切。
- ・最近の手口として、サポート詐欺が増えている。パソコンを操作しているとウイルスの感染していると電話番号が表示され、電話するよう指示が出る。その番号に電話すると片言の外国人が出る。サポートとして電子マネーを買うよう指示され、そのまま電子マネーを購入してしまう。購入した電子マネーの番号を言われだまし取られる。中には番号が違うからまた購入するよう促され、複数回買わされる被害者もいる。
- ・そもそも高齢者がコンビニで電子マネーを購入していることに違和感がある。コンビニでバイトしている人には、その場に遭遇したら売らずに警察にすぐ連絡してほしい。実際に警察からコンビニに対し、高齢者が電子マネーを購入している場合には通報をするよう依頼している。去年から成果が出ていて、八王子市内で38件の被害が未然防止されている。引き続き連携して防止に努めたい。
- ・だまされたふり作戦で犯人を検挙した例を紹介する。高齢女性宅に息子を名乗る者から電話があり、お金が用意できないかもかけられた。信じかけたが、少し不審に思い、息子の奥さんに電話したところ、そのような事実がないことが判明し、警察に通報した。そのままだまされたふり作戦をして、現場に現れた受け子を詐欺未遂の現行犯として逮捕した。
- ・最近話題となっている強盗事件について、特殊詐欺との関連も浮上している。資産情報を聞き出し、資産を持っている家を割り出して、強盗の対象にしているのではと考えられている。銀行員をかたる者からいくら預金があるかと問われ、答えてしまうこともある。狛江市の事件でも、レンタカーで実査をしていたのではという話がある。警察では、自宅に現金があるといった話や預金の額を教えた場合には、以前から対策を実施している。一時的に自宅を避難してもらったり、警察が強盗対策を取っているというステッカーを家に貼ってもらったり、近隣を管轄する警察官にパトロールを依頼する等の対策を講じている。インターホンの

カメラにより来訪者を確認して、安易に出ていかないことや、防犯カメラを設置して付近の不審な情報を確認したら警察に通報してもらう等も有効な手段と考え、指導している。多額の現金を家に置かないことも大切。電話でお金の話をしないことも重要。電話でお金の話が出たら詐欺と疑って、警察に電話することが大切。詐欺の電話がかかってきた人には、対策を丁寧に説明することになっている。

・警視庁で一番勧めている対策は電話に出ないこと。犯人に情報を与えない、だまされる機会を与えないということ。被害に遭う人の9割が固定電話を使用しているため、留守電設定も有効。メッセージを聞いてから折り返すという習慣をつけてもらいたい。知る限り、詐欺犯人が留守電にメッセージを入れるケースは把握がない。

・様々な対策を講じているが、万全であるとは言えない。警察での活動を中心に、地域で詐欺被害を防止することが求められているのではないかと思う。

・キャッシュカードやATMや電子マネー等のキーワードで、詐欺について話題にしてもらいたい。詐欺の手口を知れば、街中での高齢者の違和感に気づき、声掛けができるため有効と考える。声かけの輪を広めていきたい。

○質疑応答

【富山委員】

高齢者福祉課では、日頃から警察署と連携を取らせてもらい感謝している。高齢者あんしん相談センターでは、高齢者世帯の見回りを民生委員など地域と連携して実施している。詐欺の未遂や被害があったら、ぜひ、高齢者あんしん相談センターに連絡してほしい。情報を蓄積して継続的な支援につなげていくので協力をお願いする。

【議長】

議題1にあったが、侵入窃盗のエリア別のデータはあるか。

【松原委員】

ここが狙われているという具体的は持っていない。現時点で示すのは難しい。空き巣などは一度発生すると同じエリアで多発することはある。

【平湯委員】

警視庁のホームページに犯罪情報状況マップというものがある。ある程度の地域の罪種別を発生件数の多さで色分け表示ができる。それを使えば表示ができる。

【松原委員】

メールけいしちょうが一番リアルタイムで情報を受けられると思う。都立大学で起きた事件についてもメールけいしちょうで発信し注意喚起をおこなった。

【議長】

簡単な資料があれば作成して、委員に配布してほしい。

【右田委員】

昔から市内に住んでいる人は、近所づきあいが多く施錠しないで出かける人が多いと聞いた。八王子あるあるになっている。近所付き合いがあるからこそ油断してしまう面もあると思う。家を空けるときは施錠することを当たり前と思わず、改めて啓発することが必要と思う。

【防犯課長】

資料1のような犯罪発生状況が出ているので、市のほうでも多い傾向にある侵入窃盗や自転車盗について、個別に具体的な啓発を進めていきたいと考えている。

議題（４） その他（事務連絡等）

【防犯課長】

- ・今年度の協議会の開催予定は2回のため、本日が今年度最終となる。
- ・皆様の任期については、令和3年度4年度で、今年の3月31日までとなる。特に令和3年度についてはコロナウイルスの影響もあり対面での開催ができなかったが、令和4年度は2回開催できて大変貴重な意見をいただき感謝する。今回の意見を今後の対策に反映させていきたい。
- ・本日の会議録、及び要望のあった資料については後日改めて送付する。

以上